

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公表番号】特表2007-508024(P2007-508024A)

【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-534789(P2006-534789)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 07 K 14/435 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 07 K 14/435

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月10日(2007.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

請求項4記載の方法に従って得られたプライマーから、アレニコラマリナのヘモグロビン分子を構成するタンパク質鎖をコードするヌクレオチド配列を調製する方法であって、該方法が、以下の工程：

* アレニコラマリナのヘモグロビン分子を構成するタンパク質鎖の1つをコードする一本鎖cDNAを加熱により変性し、いかなる二次構造物及びRNA残留物をも変性する工程であって、該cDNAはmRNAから得られたものであり、この工程は変性された一本鎖cDNAの鎖を得ることを可能とし、

* 前記変性した一本鎖cDNAの鎖に前記方法により得られるプライマー対を適当な温度でハイブリダイズさせ、ハイブリダイズしたプライマーを得る工程、及び

* 先の工程で得られたハイブリダイズしたプライマーから、適当な温度でポリメラーゼによりcDNAの相補鎖を合成する工程

により構成されたサイクルを少なくとも30回繰り返すことを含む、ポリメラーゼ連鎖増幅法(PCR)に相当することを特徴とする、方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項21

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項21】

請求項15記載のタンパク質であって、

該タンパク質が、

- 配列番号12の配列、

- 又は配列番号12の配列又は下記フラグメントから、特に1個以上のアミノ酸の置換、欠失又は付加により、誘導された任意の配列であって、但し、該誘導された配列はグロブリン鎖の互いの組み合わせを可能とするもの、

- 又は配列番号12の配列又は下記フラグメントに対して相同の任意の配列であって、好ましくは配列番号12の配列と少なくとも約75%の相同性を有し、但し、該相同配

列はグロブリン鎖の互いの組み合わせを可能とするもの、

- 又は前記配列のうちの1つの任意のフラグメントであって、但し、該フラグメントはグロブリン鎖の互いの組み合わせを可能とし、特に配列番号12の配列における少なくとも約60個のアミノ酸、特には少なくとも約280個の連続したアミノ酸からなる任意のフラグメント

を含むこと、あるいはそれより構成されることを特徴とする、請求項15記載のタンパク質。